

# 冬の芽吹き コンサート

～ 滝沢昌之門下生の新芽～

2011年12月27日(火)

開場18:30 開演19:00

¥1,500 (当日¥2,000)

スタジオ・フリッツ・ナタン 福岡市中央区平尾5-22-10



市川美樹子  
(フルート)



平山龍  
(フルート)



滝沢昌之  
(フルート)



中川淳一  
(ピアノ)

チケット申し込み/問い合わせ

アコル音楽企画 092-552-5147 (E-mail: ac.musique@gmail.com) (WEB) http://www.otomigaki.com

## Program Note

〔第1部〕

亡き王女のためのパヴァーヌ  
ハバネラ形式の小品  
精霊の踊り

ロマンス

タイスの瞑想曲

ギリシャ風ディアルティメント

アンダンテとロンド

(ラヴェル) 平山・滝沢・市川  
(ラヴェル) 市川・中川  
(グルック) 平山・中川  
(ヤンサハース) 市川・中川  
(マスネ) 平山・中川  
(ゴッペル) 滝沢・平山・中川  
(ラング・ドップラー) 滝沢・市川・中川

パヴァーヌとは、カプルのこまにた行進、スペインの宮廷で小さな王女が踊るパヴァーヌが描かれている。  
ハバネラ舞臺はキューバを特色に輸入された、ダンスの音楽がスペイン人の曲をひいていたためスペイン風曲も多い。市川が緩やかなリズムを奏出している。  
グルックのオペラ「モリスとエウリディケ」で、天国の野原で精霊たちが踊る場面。音楽、清涼で優雅な趣をもつ。  
精進にあれた、ロマン主義のやみにも甘美で、心をとくような音楽。  
莫里「タイス」の間奏曲。タイスの人生を回顧する歌。タイスの悲劇が改心させようとするが、タイスは理想に人生を振り返る。心の涙を表している音楽。  
ディアルティメントには明るく軽快で楽しい曲風である。ゴッペルの優しいさにじみ出る。  
ハンガリーの作曲家は、弟のオーストリア・ウィーンのグレンツェン兄弟としてヨーロッパ音楽を牽引していた。この種な二重奏作品は数多い。

―― 休憩 (約15分) ――

〔第2部〕

セレナーデ  
マイ愛難曲より Aus Liebe  
コンクール小品

ロマンス

即興曲・カルム

雪灯りの幻想

(ワグネル) 平山・中川  
(J.S.バッハ) 市川・中川  
(フォーレ) 市川・中川  
(ゴッペル) 市川・中川  
(アンデルセン) 滝沢・中川  
(福島弘和) 平山・滝沢・平山

恋人や女性を称えるために演奏されるセレナーデ、愛しい音楽だ。  
電光石火、故世は私たちの身代わりにならなければならないのです。と気負い(歌唱する)アリア、バッハがこの愛難曲の中でも最も美しい人々を高めて作曲したと推察される曲。  
フォーレの優しい色彩感が味わえる音楽。  
ゴッペルにはロマンスが2曲あるが、この作品は短くよくまとまった方。ワグネル、ピアノとも、高い演奏技術が必要とされる。  
アンデルセンの音楽家、アンデルセンは、「ファンタジー」や「アール」の詩人とも言われる。彼が、ユーモア、花の香り、花の音、花の音の美しい音楽。  
冬の夜に、雪原に映える情景、もちろん和音で舞い踊る、静寂の中に、雪が降り始める幻想的な光景を描いている。

※当日のプログラムは、このチラシと同じものをお配りしています。曲目やパートは当日変更がある場合があります。

笛がうまくなりた！音楽がしたい！

はじめた時のその気持ちは今も同じ。練習はどんなにでも足りないけれど、少しずつ、求める音に近づくのが見える。いつまでも純粋に、音楽と共にありたい。



市川美樹子(フルート)

フルートを堀江和子、滝沢昌之、大竹泰夫、小泉浩、各氏に師事。F、マークリー、W、D、シャープ、岩花秀文、各氏のレッスン受講。第14回日本フルートコンヴェンションコンクール アンサンブル部門(大学一般の部)金賞(第1位)受賞。桐朋学園芸術短期大学科目等最修生を経てプライド演奏イベント、コンサート等で活動。



平山龍(フルート)

高校3年の時に吹奏楽部にて、フルートを始める。卒業後は、バンド活動を始めボーカルとしてLIVE活動。イベント、メディア、CM等で活動する。27歳の時にあるきっかけでフルートを再開。滝沢昌之氏に師事。現在、地元ビッグバンドに所属。



滝沢昌之(フルート)

国立音楽大学器楽科フルート専攻卒業。石原利矩氏に師事。大学卒業後、デンマーク王立音楽院教授、T.L.クリスチャンセン氏に師事するため、コペンハーゲンへ留学。デンマーク王立音楽院ではイスエルの打楽器奏者、オロラ・シュヴァルツのリサイタルで共演。東京コンセルヴァトワール・高美ディプロマ取得。野口龍氏に師事。金田、P.L.グループ、T.W.I.、P.マイゼ、瀬尾和紀、大村友樹各氏にレッスンを受ける。第5回日本クラシック音楽コンクール全国大会優秀賞。'06年より福岡を中心に、ソロ、室内楽の演奏活動、後進の指導を行う。'07年より筑紫野カモコンサート音楽ディレクター。'09年より毎年リサイタル開催。アコル音楽企画代表。



中川淳一(ピアノ)

桐朋学園大学卒業後渡独、ドイツ国立デットモルト音楽大学に入学同大学を首席で卒業。これまでに、'85年第39回日本学生音楽コンクール福岡大会第1位。'90年第9回飯塚新人音楽コンクール1位。'99年第44回西日本出身新人紹介演奏会にて西日本新聞社賞受賞。'00年日演進進新人演奏会オーディションに合格。九州交響楽団と共演。'01年九州サマーフェスティバルにて九州交響楽団と共演。'02年第20回九州芸術祭にて伴奏賞受賞。篠崎史紀氏やR.デューリング氏等、国内外の演奏家との共演も多い。'04年から'07年にかけて、モーツァルトのピアノソナタ全曲演奏会を行う。これまでに伊藤幸子、徳丸聡子、ネリー・バレット、田中美江の各氏に師事。またプロデューサーとして、「楽興の時」室内楽セミナー・演奏会」などを企画運営している。

スタジオ・フリッツ・ナタン 福岡市中央区平尾5-22-10



※西鉄バス(59番、54番)「南山荘通り」バス停より徒歩約2分  
※車の場合は、最寄りバス停のコンビニから徒歩約2分

終演後、同会場にてパーティー(小室&アンサンブル大会&ミニコンサート)有り。  
参加ご希望の方はチケットと合わせてお問い合わせ下さい。どなたでも楽器持参して参加可(予約先着20名)。参加費別途。